

NEWS RELEASE

<http://www.takara-bio.co.jp>

 平成27年7月17日
 TB15-0543

第21回日本遺伝子治療学会学術集会にて 遺伝子治療の臨床試験／臨床研究の成果を発表

タカラバイオ株式会社は、悪性黒色腫を対象にした腫瘍溶解性ウイルス HF10、固形がんを対象にした siTCR 遺伝子治療、造血器腫瘍を対象とした CAR 遺伝子治療などの臨床開発を進めています。この度、これら遺伝子治療プロジェクトの臨床試験／臨床研究の成果などを第21回日本遺伝子治療学会学術集会(本年7月24日～26日、於・大阪国際会議場)にて発表いたします。

本学会で発表する演題の一覧は下記のとおりです。

演題名	(参考)日本語演題名	発表日時・場所・演題番号
Oncolytic herpes simplex virus type 1 mutant HF10 in combination with anti-PD-1 antibody enhanced systemic anti-tumor effect	腫瘍溶解性ウイルス HF10 と抗 PD-1 抗体との併用による全身性抗腫瘍効果の増大	7月24日 8:40～10:10 プレナリーセッション 12階 第2会場 演題番号:PS-4
Manufacture of MAGE-A4-specific TCR gene modified T cells in cell processing center from patients and healthy donors	細胞調製施設における健常人および患者検体を用いた MAGE-A4 特異的 TCR 遺伝子導入細胞の調製	7月25日 9:00～9:50 一般口演 12階 第2会場 演題番号:OR-14
Engineering of CD19-CAR T cells from B-NHL patients in combination with RetroNectin/OKT3 stimulation	抗 CD3 抗体／レトロネクチンを用いた B-NHL 患者由来 CD19・CAR 遺伝子導入 T 細胞の作製	7月24日 18:00～19:00 ポスターセッション 12階 ポスター会場 演題番号:PO-44
Best CAR design based on the analysis of ligand-independent activation of CD19-CAR T cells	キメラ抗原受容体の自己活性評価を基にした最適な CD19・CAR ベクターの開発	7月24日 18:00～19:00 ポスターセッション 12階 ポスター会場 演題番号:PO-51

Combination therapy against human colorectal cancer with the epidermal growth factor receptor inhibitor cetuximab and oncolytic herpes simplex virus HF10	ヒト大腸がんモデルによる腫瘍溶解性ウイルス HF10 とセツキシマブの併用療法	7月24日 18:00～19:00 ポスターセッション 12階 ポスター会場 演題番号:PO-55
Combination treatment of human head and neck cancer xenograft models with the epidermal growth factor receptor monoclonal antibody and oncolytic herpes simplex virus HF10	ヒト頭頸部がんモデルによる腫瘍溶解性ウイルス HF10 とセツキシマブの併用療法	7月24日 18:00～19:00 ポスターセッション 12階 ポスター会場 演題番号:PO-61
Scalable production of AAV vector by baculovirus expression system for clinical use	バキュロウイルスベクターシステムを用いた臨床用 AAV ベクターの大規模化可能な製造法	7月25日 17:20～18:20 ポスターセッション 12階 ポスター会場 演題番号:PO-81
Simple and scalable serotype-independent purification method of AAV vector	血清型に依存しない AAV ベクターの精製方法	7月25日 17:20～18:20 ポスターセッション 12階 ポスター会場 演題番号:PO-82
Enhancing anti-tumor immune response of HF10 virotherapy through HSV amplicon carrying cancer therapeutic gene	治療遺伝子発現アンプリコンを用いた腫瘍溶解性ウイルス HF10 の抗腫瘍免疫応答の増強	7月25日 17:20～18:20 ポスターセッション 12階 ポスター会場 演題番号:PO-83
Tumor targeting strategy of oncolytic herpes simplex virus using hitchhiking on antigen-specific lymphocytes	抗原特異的リンパ球を用いた腫瘍溶解性ヘルペスウイルスのがん標的療法	7月25日 17:20～18:20 ポスターセッション 12階 ポスター会場 演題番号:PO-93

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先
タカラバイオ株式会社
事業開発部
Tel 077-543-7212